



留学生・留学体験紹介



FROM



出身国

バングラデシュ

スルタナ・ジャンナトゥル・フェロドウス・ジェリン

Sultana Jannatul Ferdoush Jerin さん

(医学系研究科 医科学専攻博士課程 4年)

「ニュージーランド医学・看護学研修」に参加



オンラインでの受講風景



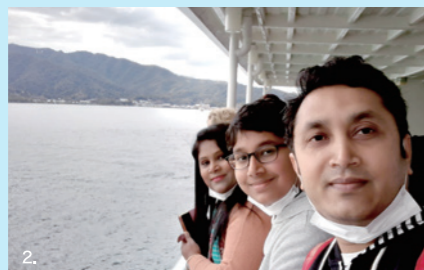
オンライン研修

ニュージーランド

あまの 希咲さん
(医学部医学科 2年)

優れた研究環境はもちろん 自然や文化からも刺激を受ける

1.今年4月のロータリー-米山奨学金の授与式の様子。留学当初から、この奨学金の取得を夢見していたので、最高の日でした。2.家族での宮島旅行の一コマ。食べ物を持っているとき多くの鹿が寄ってきて、息子がとても喜んでいました。



母国の大学を卒業後、眼科病院で働いていましたが、教育水準が高い日本でもっと学びたいとの思いがありました。以前、日本を訪れた際に、島根の静かで美しい住まいや自然の豊かさに惹かれたこともあって、留学先に島根大学を選びました。留学当初は言葉の壁がありました。留学生向けの日本語の授業を受けたことで、多くの問題を克服できました。現在は法医学講座に所属し、精神科との連携により、うつ病の研究を行っています。大学には多彩な最先端の研究設備が揃い、困ったことがあれば周囲の日本人の友人が手助けしてくれるので、研究技術を学ぶ環境として、とても満足しています。また、研究環境だけでなく、自然の美しさや芸術、文化にも触れたことで、自身の人生を変え、多くのことを日本から学びました。卒業後は、日本で研究者として働きたいです。そのためスキルや知識を在学中にしっかりと身につけたいと思っています。

MEMO

ニュージーランド医学・看護学研修(海外研修A)とは?

医療英語のレッスン、ニュージーランドの文化や医療制度に関する講義、現地の学生や医療関係者との交流を通じて、医学英語の基礎力向上とともに医療人としての国際性を身につけることを目的としたプログラムです。2021年度は、新型コロナウイルス感染症の状況をもふまえ、ニュージーランドのワイカト工科大学の協力のもと、オンラインでの研修を実施し、9名の医学科生が参加しました。

*GP…総合診療医(general practitioner)

海外の医療制度の知識を得るとともに 将来医師として働く上での心構えも学ぶ

3月21日〜25日までの5日間、ニュージーランドのワイカト工科大学のオンライン研修に参加しました。私はもとも英語が好きで、海外の方と関わったり海外の医療について学んだりしたいと思っていました。また、1年の時に必修科目以外の英語の授業をいくつか履修しており、それらの授業がとても楽しかったので、この研修も楽しみにしていました。

ことや、患者さん及びそのご家族を最優先に考える必要があることも知りました。5日間の研修を通して、英語力の向上やニュージーランドの医療制度に関する知識を得ただけではなく、将来医師として働く上で大切なことを学ぶことができました。普段の医学の勉強や今後の臨床現場において、この研修で学んだことを思い返しながら取り組んでいきたいです。